

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪保健福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療 専門課程	看護学科	夜・通信	1110 時間	240 時間	
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科 (2年課程)	夜・通信	720 時間	160 時間	
	社会福祉科	夜・通信	1290 時間	320 時間	
	保健保育科	夜・通信	660 時間	160 時間	
	専攻科	夜・通信	1140 時間	80 時間	
(備考)					
※ 精神保健福祉科および社会福祉専攻科は、社会人学生しか入学できず、支援対象外の学生しか在籍できない。 ※介護福祉科 1年は新課程(420時間)、2年は旧課程(300時間) ※社会福祉科 1年は新課程(270時間)、2~4年は旧課程(1020時間)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.ochw.ac.jp/gakkou/jyouhou/syllabus>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪保健福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2021/2021_yakuin.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大阪大学大学院医学系研究科 教授 (2006.1.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会医療法人弘道会 理事 長 (2010.4.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会富田林病院 院長 (2016.4.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪保健福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の当該年度の目標や教育目標など講師と共有し、また科目ごとの到達目標や科目目標について協議・共有して授業計画を作成、公表している。</p> <p>特に、卒業年次に国家試験を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから、担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映できるように共通認識を持てるようにしている。また、試験規定や成績評価についても規定を基に統一の見解をもてるようにしている。</p> <p>本校のシラバスについては、学園統一のシラバス様式を用いて作成している。内容としては、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容(予定)について、詳細に記載することとなっている。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.ochw.ac.jp/gakkou/jyouhou
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習意欲の把握については、学期ごとにカリキュラムアンケートを実施し、学生による授業評価を実施している。それらアンケートには、学生自身の学習に対する姿勢についても確認する項目を設定しており、それらから把握している。</p> <p>また、授業科目の成績評価については、各科目において、試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して評価することで、履修認定を行っている。レポートや実技試験などに対する評価も同時に実施することとしている。ただし、各授業科目の授業時間数の三分の一以上を欠席した者は、当該授業科目についての評価を受けることができない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学習に評価基準は、素点 70%、出席評価 20%、平常評価点 10%としている。それらの評価基準を基に学習の評価を優 (80 点以上)、良 (70 点以上 80 点未満)、可 (60 点以上 70 点未満)、不可 (60 点未満) としている。 また、GPA 評価に関しては、評価結果を 5 段階評価 (AからE) に置き換え、その評価を 4 から 0 までの点数 (GP : Grade Point Total) に置き換える。学生個人の GP を算出し、各学科の成績分布を示している。 これらの事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める試験規定 (成績評価基準) により、試験に関する諸規定ならびに学習評価について、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.ochw.ac.jp/gakkou/jyouhou
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在籍し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格の認定を行っている。 また、これらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める課程修了の認定において、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.ochw.ac.jp/gakkou/jyouhou

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪保健福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
収支計算書又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療 専門課程	看護学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3120 単位時間/単位	1800 単位時間 /単位	285 単位時間 /単位	1035 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		260人	0人	14人	45人	59人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の当該年度の目標や教育目標など講師と共有し、また科目ごとの到達目標や科目目標について協議・共有して授業計画を作成、公表している。</p> <p>特に、卒業年次に国家試験を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから、担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映できるように共通認識を持てるようにしている。また、試験規定や成績評価についても規定を基に統一の見解をもてるようにしている。</p> <p>本校のシラバスについては、学園統一のシラバス様式を用いて作成している。内容としては、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容について、詳細に記載することとなっている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】学習に評価基準は、素点70%、出席評価20%、平常評価点10%としている。それらの評価基準を基に学習の評価を優（80点以上）、良（70</p>

<p>点以上 80 点未満)、可 (60 点以上 70 点未満)、不可 (60 点未満)としている。 また、GPA 評価に関しては、評価結果を 5 段階評価 (A から E) に置き換え、その評価を 4 から 0 までの点数 (GP : Grade Point Total) に置き換える。学生個人の GP を算出し、各学科の成績分布を示している。 これらの事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める試験規定 (成績評価基準) により、試験に関する諸規定ならびに学習評価について、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 【様式第 2 号の 3 より再掲】所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在籍し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格の認定を行っている。また、これらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める課程修了の認定において、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 各担任が責任を持って対応し、必要に応じて学生相談室 (学園専用) の案内、学費相談窓口への取次ぎも行っている。学修支援としては、放課後補講や休日補講などの対応を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
88 人 (100%)	1 人 (1.1%)	83 人 (94.3%)	4 人 (4.5%)
(主な就職、業界等) 病院等			
(就職指導内容) 主な就職先は病院。キャリアセンターに学科専属のスタッフが常駐しており、履歴書指導、面接指導、公務員対策、就職フェア (業界セミナー) などを実施。学生、担任、キャリアセンターが一丸となって就職活動を行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
265 人	5 人	1.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更・体調面・経済面		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートの実施、担任制、学生相談室 (専属カウンセラー) の設置など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2482 単位時間/単位	1290 時間	720 時間	472 時間	時間	時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		123人	27人	5人	23人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の当該年度の目標や教育目標など講師と共有し、また科目ごとの到達目標や科目目標について協議・共有して授業計画を作成、公表している。</p> <p>特に、卒業年次に国家試験を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから、担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映できるように共通認識を持てるようにしている。また、試験規定や成績評価についても規定を基に統一の見解をもてるようにしている。</p> <p>本校のシラバスについては、学園統一のシラバス様式を用いて作成している。内容としては、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容について、詳細に記載することとなっている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】学習に評価基準は、素点70%、出席評価20%、平常評価点10%としている。それらの評価基準を基に学習の評価を優（80点以上）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）としている。</p> <p>また、GPA評価に関しては、評価結果を5段階評価（AからE）に置き換え、その評価を4から0までの点数（GP:Grade Point Total）に置き換える。学生個人のGPを算出し、各学科の成績分布を示している。</p> <p>これらの事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める試験規定（成績評価基準）により、試験に関する諸規定ならびに学習評価について、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在籍し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格の認定を行っている。また、これらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める課程修了の認定において、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>各担任が責任を持って対応し、必要に応じて学生相談室（学園専用）の案内、学費相談窓口への取次ぎも行っている。学修支援としては、放課後補講や休日補講などの対応を行っている。</p>

--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47人 (100%)	0人 (0%)	47人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害福祉サービス事業所、児童福祉施設など			
（就職指導内容） 主な就職先は高齢者福祉施設。キャリアセンターに学科専属のスタッフが常駐しており、履歴書指導、面接指導、公務員対策、就職フェア（業界セミナー）などを実施。学生、担任、キャリアセンターが一丸となって就職活動を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士・レクリエーションインストラクター・福祉英語検定・福祉事務管理技能検定・介護予防運動トレーナー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
126人	9人	7.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更・体調面・経済面		
（中退防止・中退者支援のための取組） キャリアサポートアンケートの実施、担任制、学生相談室（専属カウンセラー）の設置など		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	教育・社会福祉 専門課程	社会福祉科	-	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3600 単位時間/単位	1200 時間	2130 時間	270 時間	時間	時間
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	120人	0人	5人	24人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 【様式第2号の3より再掲】学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の当該年

<p>度の目標や教育目標など講師と共有し、また科目ごとの到達目標や科目目標について協議・共有して授業計画を作成、公表している。</p> <p>特に、卒業年次に国家試験を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから、担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映できるように共通認識を持てるようにしている。また、試験規定や成績評価についても規定を基に統一の見解をもてるようにしている。</p> <p>本校のシラバスについては、学園統一のシラバス様式を用いて作成している。内容としては、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容について、詳細に記載することとなっている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】学習に評価基準は、素点70%、出席評価20%、平常評価点10%としている。それらの評価基準を基に学習の評価を優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)としている。</p> <p>また、GPA評価に関しては、評価結果を5段階評価(AからE)に置き換え、その評価を4から0までの点数(GP:Grade Point Total)に置き換える。学生個人のGPを算出し、各学科の成績分布を示している。</p> <p>これらの事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める試験規定(成績評価基準)により、試験に関する諸規定ならびに学習評価について、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在籍し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格の認定を行っている。また、これらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める課程修了の認定において、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>各担任が責任を持って対応し、必要に応じて学生相談室(学園専用)の案内、学費相談窓口への取次ぎも行っている。学修支援としては、放課後補講や休日補講などの対応を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	17人 (94.4%)	1人 (5.6%)
(主な就職、業界等) 居宅サービス事業所等、障害者支援施設、社会福祉協議会、医療機関など			
(就職指導内容) 主な就職先は高齢者・障がい者・児童福祉施設。キャリアセンターに学科専属のスタッフが常駐しており、履歴書指導、面接指導、公務員対策、就職フェア(業界セミナー)などを実施。学生、担任、キャリアセンターが一丸となって就職活動を行っている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 社会福祉士・精神保健福祉士		
(備考) (任意記載事項)		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103人	7人	6.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更・意識喪失・体調面		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートの実施、担任制、学生相談室(専属カウンセラー)の設置など		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	保健保育科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間 及び 夜間	2295 単位時間/単位	615 単位時間 /単位	1350 単位時間 /単位	330 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	83人	0人	5人	17人	22人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【様式第2号の3より再掲】学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の当該年度の目標や教育目標など講師と共有し、また科目ごとの到達目標や科目目標について協議・共有して授業計画を作成、公表している。 特に、卒業年次に国家試験を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから、担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映できるように共通認識を持てるようにしている。また、試験規定や成績評価についても規定を基に統一の見解をもてるようにしている。 本校のシラバスについては、学園統一のシラバス様式を用いて作成している。内容としては、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容について、詳細に記載することとなっている。
成績評価の基準・方法
(概要) 【様式第2号の3より再掲】学習に評価基準は、素点70%、出席評価20%、平常評価点10%としている。それらの評価基準を基に学習の評価を優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)としている。 また、GPA評価に関しては、評価結果を5段階評価(AからE)に置き換え、その評価を4から0までの点数(GP:Grade Point Total)に置き換える。学生個人のGPを算出し、各学科の成績分布を示している。

これらの事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める試験規定（成績評価基準）により、試験に関する諸規定ならびに学習評価について、詳細に記載しており、ホームページに公表している。
卒業・進級の認定基準 （概要） 【様式第2号の3より再掲】所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在籍し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格の認定を行っている。また、これらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める課程修了の認定において、詳細に記載しており、ホームページに公表している。
学修支援等 （概要） 各担任が責任を持って対応し、必要に応じて学生相談室（学園専用）の案内、学費相談窓口への取次ぎも行っている。学修支援としては、放課後補講や休日補講などの対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	17人 (41.5%)	20人 (48.8%)	4人 (9.6%)
（主な就職、業界等） 保育園			
（就職指導内容） 主な就職先は保育園。キャリアセンターに学科専属のスタッフが常駐しており、履歴書指導、面接指導、公務員対策、就職フェア（業界セミナー）などを実施。学生、担任、キャリアセンターが一丸となって就職活動を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士・保健児童ソーシャルワーカー・リトミック指導員1級・リトミック指導員2級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	8人	10.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更・学力面・体調面		
（中退防止・中退者支援のための取組） キャリアサポートアンケートの実施、担任制、学生相談室（専属カウンセラー）の設置など		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育・社会福祉	教育・社会福祉 専門課程	専攻科	-	-

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	1140 単位時間/単位	180 単位時間/単位	960 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		17人	0人	5人	17人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の当該年度の目標や教育目標など講師と共有し、また科目ごとの到達目標や科目目標について協議・共有して授業計画を作成、公表している。</p> <p>特に、卒業年次に国家試験を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから、担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映できるように共通認識を持てるようにしている。また、試験規定や成績評価についても規定を基に統一の見解をもてるようにしている。</p> <p>本校のシラバスについては、学園統一のシラバス様式を用いて作成している。内容としては、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容について、詳細に記載することとなっている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】学習に評価基準は、素点70%、出席評価20%、平常評価点10%としている。それらの評価基準を基に学習の評価を優（80点以上）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）としている。</p> <p>また、GPA評価に関しては、評価結果を5段階評価（AからE）に置き換え、その評価を4から0までの点数（GP:Grade Point Total）に置き換える。学生個人のGPを算出し、各学科の成績分布を示している。</p> <p>これらの事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める試験規定（成績評価基準）により、試験に関する諸規定ならびに学習評価について、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在籍し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格の認定を行っている。また、これらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生指導便覧に定める課程修了の認定において、詳細に記載しており、ホームページに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>各担当が責任を持って対応し、必要に応じて学生相談室（学園専用）の案内、学費相談窓口への取次ぎも行っている。学修支援としては、放課後補講や休日補講などの対応を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育園			
(就職指導内容) 主な就職先は保育園。キャリアセンターに学科専属のスタッフが常駐しており、履歴書指導、面接指導、公務員対策、就職フェア(業界セミナー)などを実施。学生、担任、キャリアセンターが一丸となって就職活動を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士・保健児童ソーシャルワーカー・リトミック指導員1級・リトミック指導員2級			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートの実施、担任制、学生相談室(専属カウンセラー)の設置など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
看護学科	100,000円	1,050,000円	285,000円	
介護福祉科	100,000円	750,000円	275,000円	
社会福祉科	100,000円	900,000円	285,000円	
保健保育科	100,000円	750,000円	275,000円	
専攻科	100,000円	450,000円	130,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: https://www.ochw.ac.jp/gakkou/jyouhou
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

<p>学校の教育目標、計画に沿った取組の達成状況、学校運営等への取組が適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。</p> <p>自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科に関連する企業・団体、卒業生、保護者など、学校と密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携協力体を確保するため、業界関係者、卒業生、保護者等学校関係者から規程に基づき選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し「学校関係者評価」を実施する。当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善への取組をホームページに掲載し広く社会へ公表する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
国立循環器病研究センター	2020年4月～2021年3月	業界
社会福祉法人隆生福祉会	2020年4月～2021年3月	業界
株式会社にじの木保育園	2020年4月～2021年3月	卒業生
高等学校	2020年4月～2021年3月	高等学校
民生委員	2020年4月～2021年3月	地域
(保護者)	2020年4月～2021年3月	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
URL : https://www.ochw.ac.jp/gakkou/jyouhou		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>URL : https://www.ochw.ac.jp/gakkou/jyouhou</p>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	大阪保健福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		113人	104人	114人
内 訳	第Ⅰ区分	68人	64人	
	第Ⅱ区分	23人	16人	
	第Ⅲ区分	22人	24人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				114人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの 限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。